

双葉から紡ぐ未来

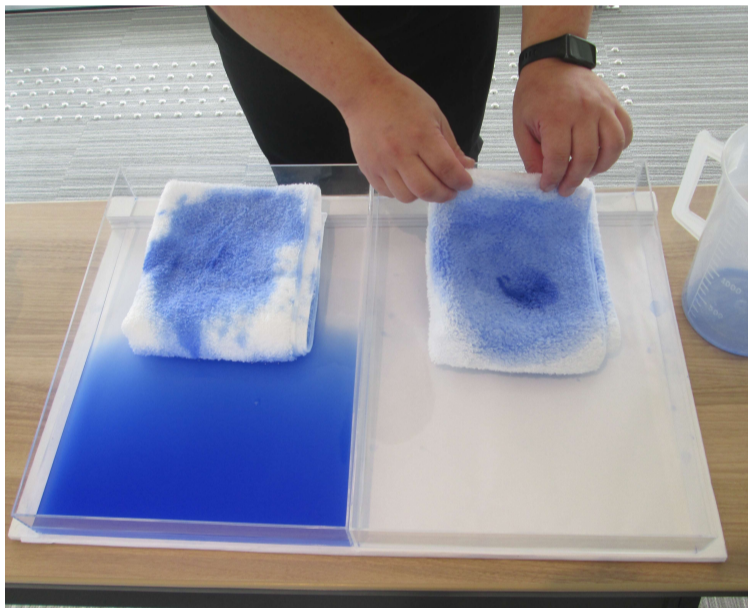
糸の力で復興後押し

糸燃野浅 不安を乗り越え 双葉と歩む決心



浅野燃系双葉事業所内の工場にある燃系機

双葉町の浅野燃系（ねんし）株式会社双葉事業所「フタバスーパーゼロミル」は、特許技術の特製糸「スーパーゼロ」を製造している。スーパーゼロは糸の中に空気を取り入れることに成功した世界初の糸で、愛媛県の今治でタオルなどに加工され販売されている。このほか、事業所内では



タオルの吸水性を比較する実験。右のタオルは水分をすべて吸収しているが、左の普通のタオルは下にしみ出している

浅野燃系のスーパーゼロは高温の水に溶ける水溶性糸と綿糸を撚り、水溶性糸を溶かすことで、空気をたっぷり含ませることができ、ポリウム

圧倒的な吸水力誇る 特許技術の糸「スーパーゼロ」

が出る。水溶性糸は切れやすいなど扱いが難しく、浅野燃系以外の会社では作ることが難しい。スーパーゼロでできたタオルは、速乾性、柔軟性、

防シワなどの特長がある。その中でも特に素晴らしいのは、吸水力だ。写真の通り、普通のタオルよりも1・6倍も吸水する。



私たちが作りました

- 佐藤 直輝 (光南高2年)
- 鈴木 涼太 (富田中2年)
- 四家 歩陽 (ふたば未来学園中1年)
- 作山 結音 (ふたば未来学園中1年)
- 曲山 輝 (富田中1年)
- 鈴木孝志朗 (安積一小5年)

双葉事業所の中にあるカフェとラウンジ



直営店のエアーカーお双葉丸



双葉事業所の外観がわかる模型

た。そんな中、糸の製造を営む浅野燃系に白羽の矢が立った。視察に訪れた浅野燃系の浅野雅己社長が、この

双葉事業所には、工場のほか、カフェや直営店などの施設がある。カフェは地域住民が集まる憩いの場としての役割がある。カフェでは、

カフェや直営店を併設

シラスを使ったパスタや期間限定の福島産の桃を使ったドリンクやデザートが提供されている。直営店のエアーカーお双葉丸では、魔法の糸スーパーゼロで作った「エアーカーお双葉丸」などのタオルや洋服が販売されている。「エアーカーお双葉丸」と

工場には、燃系機20台、合糸機6台、水溶性の糸を溶かすスチームセッター1台がある。工場は唯一無二の燃系技術とメイドイン双葉を世界に発信する浅野燃系生産部門の拠点である。

事業所内は見学することができ、浅野燃系の歴史を知ることができる。施設は開放感があふれるガラス張りになっている。いう名前は、「AIRは空気、Kはクラレの溶ける糸、Aは浅野燃系の技術、Oはおぼろタオルの感性、Lはともに生きる(LIVE)」を意味している。

で商売ができるのか。働き手は集まるだろうか」と大きな不安を感じていたという。双葉事業所は、2023年4月22日にオープンした。現在は、国内のほかベトナム、中国、韓国

の企業と製品に関する契約が決まっており、事業は大きく広がっている。今後は、双葉町の交流人口を増やし、訪れる人たちに町をPRして、町の活性化に貢献したい、という目標を掲げている。